

勤務形態一覧表の作成例

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

( 年 月分) サービス種類 ( (介護予防) 認知症対応型共同生活介護)

他の職務と兼務している場合は職務ごとの勤務時間を記載します。

勤務時間は、休憩時間を除いた実労働時間で記載します。時間外の勤務は除いてください。

事業所名 ( (ユニット名) )

職種	勤務形態	資格	氏名	日勤・夜勤の区分	第 1							第 2							第 3							第 4							週4週の合計	週平均の勤務時間	常勤換算後の人数						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	#	#	#	#	1	2	3	4	5	6	7	8	9	#	#	#	#	1	2				3	4	5	6	7	8
管理者	A		相模川 一子	—	8	8	8	8	8				8	8	8	8	8				8	8	8	8	8				8	8	8	8	8				160	40	—		
計画作成担当者	B	介護支援専門員	川崎 一夫	—	4	4	4	4	4				4	4	4	4	4				4	4	4	4	4				4	4	4	4	4				80	20			
介護従業者	A	介護福祉士	藤沢 太郎	日勤	2	8		6	2	8			6	2	8				6	2	8				6	2	8				6	2	8				104	26			
				夜勤	6			2	6				2	6					2	6					2	6					2	6				56	0				
	A	介護福祉士	綾瀬 次子	日勤	6	2	8		6	2	8			6	2	8				6	2	8				6	2	8				6	2	8				104	26		
				夜勤	2	6			2	6				2	6					2	6					2	6					2	6				56	0			
	A	介護福祉士	鎌倉 三子	日勤		6	2			6	2	8			6	2	8				6	2	8				6	2	8				6	2	8				104	26	
				夜勤		2	6			2	6				2	6					2	6					2	6				2	6				56	0			
	A	介護福祉士	松田 四郎	日勤			6	2	8			6	2	8				6	2	有		6	2	8			6	2	8				6	2	8				104	26	
				夜勤			2	6			2	6				2	6				2	6					2	6				2	6				56	0			
	B		川崎 一夫	日勤	4	4	4	4	4				4	4	4	4	4				4	4	4	4	4				4	4	4	4	4				80	20			
				夜勤																																	0	0			
	C		三浦 五子	日勤	8				8		8	8			8		8	8				8		8	8				8		8						96	24			
				夜勤																																	0	0			
	C		藤野 六子	日勤	4	4	4	4	4				4	4	4	4	4				4	4	4	4	4				4	4	4	4	4				80	20			
				夜勤																																	0	0			
			介護従業者における日勤時間の計		#	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	a896	b224	c5.6			

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間 [就業規則等で定められた1週あたりの勤務時間] 40時間/週 (d)

介護従業者の夜勤における勤務開始時間及び終了時間: 当日 16時00分 から 明朝 9時00分まで

利用者の生活時間: 朝の 7時00分から夕の 22時00分まで

\* a(4週の合計勤務時間)・・・介護従業者の日勤帯における4週間分の合計勤務時間を記入。

注: 管理者や計画作成担当者が介護従業者と兼務している場合は、それぞれの職種で勤務時間を割り振り、管理者や計画作成担当者としての勤務時間は除くこと。

\* b(週平均の勤務時間)・・・a÷4

\* c(常勤換算後の人数)・・・b÷d (小数点以下第2位を切り捨て)

備考1 事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、4週間分の勤務すべき時間数を記入してください。

2 介護従業者は右記の勤務形態の区分の順にまとめて記載してください。 **勤務形態の区分 A:常勤で専従 B:常勤で兼務 C:常勤以外で専従 D:常勤以外で兼務**

3 算出にあたっては、**小数点以下第2位を切り捨て**てください。

4 介護従業者の欄が足りないときは、欄を増やして(別の職種の余分な行を削除してその分の行を増やす、2ページにする等)記入してください。

5 \* 欄には、当該月の曜日を記入してください。

6 介護従業者は下記例を参考に日勤帯における勤務時間と夜勤帯における勤務時間を区分して記入してください。

介護従業者	A	介護従業者	神奈川花子	日勤	8	8	8	6	2			8	8	8	6	2			8	8	8	6	2			8	8	8	6	2				128	32		
	〃		〃	夜勤				2	6						2	6							2	6											—	—	

(例:日勤帯における勤務時間は8時間、夜勤者の勤務時間帯は16時～9時、利用者の生活時間を7時～22時とした場合。)

夜勤者の勤務時間帯 →

生活時間	夜間及び深夜の時間帯	生活時間
16～22時	22～7時(休憩1H、実働8時間)	7～9時

〇入居(利用者)者数

9 名

常勤職員の休暇等の期間は、暦月で1月を超えるものでない限り、常勤換算の計算上は勤務したものとみなすことができます。その場合、勤務時間欄には「有」と記入し、勤務時間の合計に含めてください。